

エコライフみしま

自然豊かな 快適環境のまち
未来へつなぐ



三島

知っていますか？



市の鳥「カワセミ」



市の木「イチョウ」



市の花「三島桜」

第 4 3 号
2024/6/30

● 特集「三島市民のエコへの取り組み」P1～P5

三島市民のエコへの取り組み



P2 梅名自治会



P2 南田町町内会



P3 電業社機械製作所



P4 安久お花畑音楽会

「エコライフみしま」は平成 15(2003)年 4 月 15 日に、「地域の環境情報や環境活動等を広く市民のみなさんに紹介し、環境のことについて、一緒に考え、行動していくきっかけとなる情報誌」として創刊号が発行されました。第 43 号では三島市で環境問題に関して取り組みを行っている市民、企業、グループの方々からお話を伺いました。読者の皆様の、環境問題への活動のきっかけにさせていただけると幸いです。

環境美化推進員の取り組み

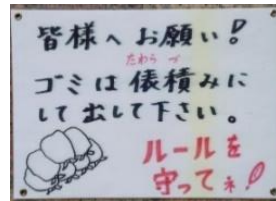
環境美化推進員は各自治会・町内会の環境の美化を推進されていらっしゃるリーダーの人たちです。環境美化活動を積極的に、精力的に実践されています。今回は、推進員の方たちの活動内容の一部を紹介します。

梅名自治会 お話をお伺いした方…小針さん、佐藤さん

～環境美化推進員は8名です。総会では年間の活動を報告し、環境美化推進活動内容の共有化をしています。「環境先進の町」「良い環境をいつまでも」の言葉をごみ集積所に掲示しています～

○ 市の指定ごみ袋への表記を徹底しています
町内の皆様に、ごみ袋の町名欄に「梅名」氏名欄に住居の番地を記入してごみ出しをしてもらっています。

○ ごみの分け方・出し方のルール厳守をお願いしています(写真下)



○ 町内のイベントでごみの出し方のルールを教える寸劇を行っています

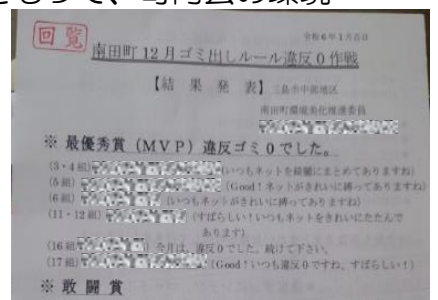


交通の便がよい集積所には、他の地域の方がごみを捨ててしまうことがあります。三島市と分別方法が違うためにごみ袋が回収されず、困ってしまうことも。少し離れたところから集積所を見守る活動をしています。住民の方の協力で係積みでごみ捨てし、雨の日には水が入らないよう工夫しています。

南田町町内会 お話をお伺いした方…土屋さん、増島さん

～産業廃棄物処理業者への集団ごみ回収の団体1号としての誇りをもって、町内会の環境美化の推進を継続されています～

○ 回覧版で家庭ごみの分け方・出し方に関する状況や、情報の提供をおこなっています(写真右)



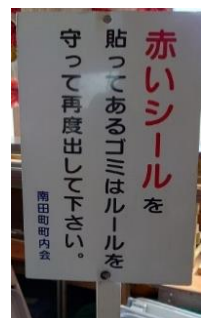
「ルール違反ごみ0作戦チェック表」で町内各集積所の違反状況を公表し、月間で「最優秀 MVP 違反ごみ0」などの発表をしています。



○ 産業廃棄物処理業者と契約を行い、いつでも利用できる資源ごみの収集場所を設けています(写真左)

○ 地域の小・中学生が奉仕活動に参加してくれます。「地域活動参加証明書」を発行し、学校に子供たちの活動をお知らせできるようにしています。

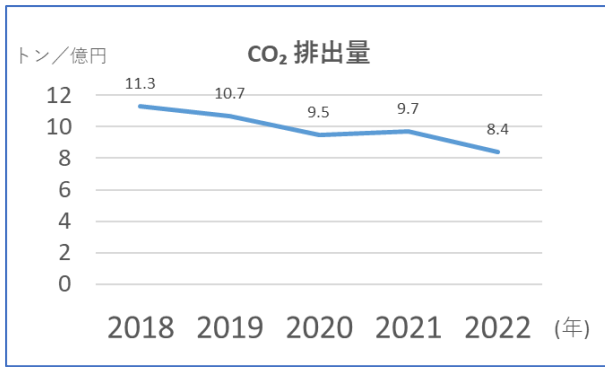
違反があった集積所に立て看板を設置して、次回のごみ出しの時に間違えないようお知らせしています



三島市内企業の取り組み

環境保全活動の状況を、三島市内の企業市民である(株)電業社機械製作所に伺い、サステナビリティ推進室の皆さまを取材しました。

(株)電業社機械製作所の環境保全活動は、事業活動の重要課題に位置付けられ、社員の環境意識の維持向上の為、毎月様々な内容の環境教育を行っているそうです。



事業活動でのCO₂排出量は減少していますが、(上図)これには照明のLED化、変圧器の高効率化が寄与しているそうです。工場の水銀灯をLEDにすることで手元が明るくなったとのことでした。

また、2022年に「再エネ100宣言 RE Action(※)」に加盟したそうです。三島市は、2050年カーボンニュートラルの実現を目指して活動していますが、これに直接繋がる活動だと言えます。

工場から出る金属くずなどの廃棄物は、その80〜90%がリサイクルされ、紙類は会社内で分別し、その全てを固形燃料と再生紙原料にリサイクルしているそうです。

取材を終えて〜編集ボランティア感想〜

取材を終え、環境保全活動はうまく回っていると感じました。トップの明確な方針があり、それを具体化する人がいて仕組みがあつて、社員皆さまが活動に参画しています。このような活動が他の企業にも広がれば、三島市の環境がより良くなることは間違いありません。市民の皆さまも是非参考にしてくださいと思います。



←2022年3月、三島事業所にカーポートの太陽光発電設備と蓄電池を設置しました。更なるCO₂排出削減が期待されます。なおこの電力は、災害時に市との防災協定に基づき市民に開放されることで、心強いことです。

工場を使うフォークリフトは電動化されており、CO₂排出削減が期待されます。→



←楽寿園での清掃活動(写真)を続けていること、また例年8月に地元市民も参加する「電業社夏まつり」を開催していることを聞き、地域社会との共生を大事にしていると感じました。

※：再エネ100宣言 RE Action

企業、自治体、教育機関、医療機関等の団体が使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する枠組みのこと。一般社団法人再エネ100宣言 RE Action 協議会が運営。

参加要件 ① 遅くとも2050年までに使用電力を100%再エネに転換する目標を設定し、対外的に公表すること ②再エネ推進に関する政策エンゲージメントの実施 ③消費電力量、再エネ率等の進捗を毎年報告すること

家庭での取り組み

家庭でエコへの取り組みを実践している方にお話をお伺いしました。
まず、自宅でヘチマたわしとコンポストを作っている、堀江さん(安久)の活動を紹介します。

ヘチマたわし

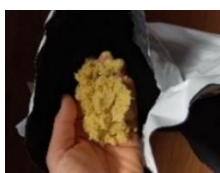
一昨年から畑でヘチマを栽培し、たわしを作って食器洗いに使っています。ナイロンスポンジは、すぐにへたってしまうし、アクリルたわしにもマイクロプラスチックの害がある事を知り、自然素材のモノにしたかったからです。ヘチマたわしは、使い始めは非常に固いのですが、だんだんと柔らかくなじんできて、へたりにくく長く使えます。育てやすく、つる性植物なので、緑のカーテンにもおすすめですよ!!



たわしづくり

水に浸けて腐らせる方法や自然乾燥など、作り方は色々ありますが、私は手っ取り早く、切って鍋で煮てしまいます。収穫時期が早いと繊維が柔らか過ぎて、たわしになりませんのでご注意ください。

コンポスト生活



コンポストは、かなり前からやっています。
生ゴミが出ず、匂いやゴミの日までの保管の必要もなく快適！
色々なコンポストを使ってきましたが、今はファスナー付きでバッグ型のものを使っています。開閉しやすく、虫が入りにくい、水分調整しやすいなど機能がよく、おしゃれなので気分もあがります。

中に入れる基材は、市販の竹パウダーを使っていますが、放置竹林の問題解決も兼ねて、地元の竹を活用できたらなあ…と、持続可能な社会への夢はつきません。

その先に！



コンポストは、市のゴミ削減にもなるけれど、「堆肥をつくっても活用先がないから…っていう人たちもいるよね」と、コンポスト仲間たちと話しをする中で、安久で毎年開催されている「お花畑音楽会」のことが思い浮かびました。お花畑の地主の方のご厚意でコンポスト堆肥を受け入れてくださることに！市内には、畑も花壇もたくさんあるので、コンポストがもっと広がっていけばと思います。



↑演奏する堀江さん

かみ
紙二価実～私の紙の扱い方～

ミックス古紙について、飯田さん(清住町)にお伺いしました。

燃えるごみの日に、沢山の紙が捨てられているのを目にします。私は、紙ごみは「燃えるごみ」としてではなく、資源ごみとして考えています。分別するのは面倒と思われがちですが、燃えるごみの隣に市の指定ごみ袋を設置してミックス古紙を入れるようにしています(右図)。

また、市から配布されている「家庭ごみの分け方・出し方」に、ミックス古紙かどうかの判別方法が書かれていますので、わからないときは確認するとともに、清掃センターに連絡しています。

ミックス古紙で捨てられるごみの種類はたくさんあります。一か月分の紙ごみを集計していました(令和6年3月)(右図)。「上質ちらし」の印刷されていない面はメモ用紙などに活用しています。

種類	別
チラシ(土質)	
レシート	
メモ用紙	
封筒	
家内文用紙	
報告文用紙	
ハガキ	
パンフレット	
封筒	
紙箱	
トレットパーセル	
紙袋	
封入紙	
紙カ	ード
ポスター	
チラシ	の
ファイル	
封筒	付



←クルポアプリ
ダウンロードはこちら

食品ロス

「クルポ」アプリを利用した
食品ロスの取り組み

・ふじのくに食べきりやっただね！キャンペーン
食べきり協力店で食べきって、店舗にあるQRコードを読み込むと、1日につき1ポイントを獲得。

三島市の協力店(17店舗)

- ・一番亭三島塚原店・一番亭三島駅前店・かつ銀三島北上店・ぼて福三島店・RAA4(ライオン)・赤から三島店・創作料理ゆうが三島・五味八珍・デニーズ三島玉川店・デニーズ三島北店・鐘庵三島徳倉店・はなの舞三島南口店・魚民三島広小路駅前店・N白木屋JR三島南口駅前店・横濱魚萬JR三島南口店・河野米店&甘味処

・食ロスレスキュー

賞味期限に近い商品の購入など。ポイントは1〜10ポイントを獲得。

・フードバンクへの協力

賞味期限が1月以上残っている未開封の食料品を協力店のフードドライブ(※)回収BOXに提供すると1日につきポイント獲得。※一般的に企業などから寄贈される仕組みを「フードバンク」、家庭から寄贈される仕組みを「フードドライブ」と呼んでいます。

「クルポ」とは

地球温暖化防止のための県民運動「ふじのくにCOOLチャレンジ」が実施する温暖化対策アプリ「クルポ」のことです。30ポイント獲得すると豪華景品が当たる抽選に参加できます。

ここではポイントにフォークラスしてご紹介しましたが、あくまでエコ活動が続けていく中で賞品がもらえればお得！という感覚でエコ活動が継続できればよいですね！

【編集スタッフ(市民ボランティア)】7名

〒411-0858 静岡県三島市中央町5-5
三島市役所中央町別館 環境政策課内「エコライフみしま」編集事務局
TEL:055-983-2647 FAX:055-976-8728
E-mail: kankyou@city.mishima.shizuoka.jp

【編集後記】

今回は特定のテーマを絞らず、三島市民のやっている、またはでき得るエコに関する取り組みについてご紹介いたしました。この記事を読まれて自分で日頃やろうと思っていたことができなかつた取り組みや、今まで気づかなかつた取り組みなどに今後取り組んで行かれるきっかけになれば幸いです。